

令和5年度 第1回仙台市立学校事務研究会役員会

日時：令和5年6月8日(木)15:15～

会場：仙台市民会館第2会議室

1 開 会

自己紹介

2 会長挨拶

新年度になり2ヶ月経過。例年、人事異動後にタイムカードが作られていない等の連絡があるが、今年はなくて良かった。

総会は新型コロナの5類引き下げ前だったため紙面開催だったが、夏季研修会と研究大会は通常開催する。

研究会の見直しについても今年度中に結論を出したい。運営が困難になった太白地区の処遇について、提案するので協議をお願いしたい。

・関係団体理事等(会長)

仙小教研学校事務部会会長

みやぎ生協学校職域部会代表理事

宮城県教職員互助会理事

公務員弘済会宮城支部運営委員

・副会長担当部会

鈴木副会長：調査研究部・情報化推進部・(研修部)

茂庭副会長：総務部・広報部

斎藤副会長：研修部

・政令指定都市学校事務職員研究協議会(主管：岡山市)

8月9～10日に3部会(運営・研修・研究)で開催

人事課より予算配当は「1名分」と指示があったため、会長が参加する。

・他団体代表者

宮事研会長 石巻市立蛇田小学校 梅木正志さん

全事研支部長 大崎市立鳴子小学校 藤田基成さん。

・全事研福井大会

8月3～4日に開催。

全事研宮城支部から推薦者について連絡があった。仙台市の予算は2名分(小学校1名・中学校1名)とのこと。上野山小の菊地さんと幸町中の峯岸さんが参加。

・全事研宮城大会(主管：全事研宮城支部)

令和9年度に開催。これまで東北6県で全国大会が開催される場合は、東北大会を同時開催としていたが、東北事務研宮城大会(主管：宮事研)が令和10年度に予定されており、全国大会と同時開催とするかは現在協議中とのこと。宮事研の全事研組織加入について特に進展はないが、全事研宮城大会を控え連絡は取り合っており、今後、協議会をつくるか検討中とのこと。

・市内学校事務職員数

学校事務職員数は会計年度職員、臨時職員を含め小中高で252人。

正職員のうち県採用98人、市採用112人となり、市採用が上回った。

県採用で一番若い人が22年目、市採用で一番長い人が13年目である。間の9年は一人もいないため、経験年数が両極端な状況となっている。

正規の男女比は70人对140人で女性が男性の2倍である。臨時的任用職員は産休・育休代替が増えており、学校事務の仕事が初めての人も多くなっている。男性の育休取得も増加傾向にあるなか、臨時的任用職員の確保も課題となっている。

・事務研究会会員数

今年度の会員数は正会員が182人、準会員が42人、代替の臨時職員も含めての数になるが224人である。非会員数は令和4年度9人に対し令和5年度は19人に増えた。

再任用の職名について、来年度からの定年延長のため「専門員」から「主任」に変わった。該当者は12人。会員名簿では主任(再)と表記している。

3 参与挨拶

欠席

4 協 議

(1)紙面総会反省(総務部)

○会員数220名 役員数16名

総会参加者数146名(承認 146名 無効 0名)

○開催期間 令和5年4月14日～27日

運営上特に問題なし

(2)事業計画に関して(会長)

夏季研修を8月、研究大会を1月に行う。

(3)夏季研修会計画(研修部) ※市教委後援予定

日時:令和5年8月23日(水) 13:30～受付

会場:エルパーク仙台 セミナーホール1・2

内容:講話Ⅰ「不登校児童に対する現状とこれからの未来を考える」

ろりぽっぷ小学校 校長 高橋 元気 様

講話Ⅱ「南小泉中学校 夜間中学について」

南小泉中学校 事務長 早坂 正利 様

13:30～ 受付開始
13:45～13:55 開会行事(進行は総務部)
14:00～14:50 講話Ⅰ(進行は研修部)(50分)
15:00～15:20 講話Ⅱ(進行は研修部)(20分)
15:30～16:30 グループワーク(60分)
16:30～16:40 グループワークの発表(10分)(進行・グループ分け研修部)
16:40～16:45 閉会行事(進行は総務部)

- ・開会で功績者表彰を行う(4名)。
- ・ろりぽっぷ小学校の高橋校長先生へ講師謝礼1万円、お車代5千円を支払う(研修費から支出)。
※謝礼について、教研の基準では高くても1万円。お車代は駐車料金を考慮して5千円が妥当。
- ・オンラインは行わず、参集のみとする。
- ・グループワークの人数は1班あたり6名程度に抑える。
- ・グループワークの班構成は、地区はバラバラにするが同じような採用年度(勤務年数)の人で
組ませる(参加アンケートで経験年数を報告してもらう)。
- ・グループワークに課題を与える。課題は講演に沿ったものでないもの。グループを決めてから、
それに合わせて研修部で決める。
- ・グループワークの後に発表してもらう。
- ・グループワークの司会と記録は研修部でランダムに指名しておく。

(4)第19回 研究大会 ※市教委後援予定

日時:令和6年 1月12日(金) 13:00～受付

会場:戦災復興記念館 記念ホール

内容:講演「学校事務職員からの働き方改革 成功の秘密を解説」(仮題)

株式会社ワーク・ライフバランス 田川 拓磨 様

青葉地区研究発表

13:00～ 受付開始
13:15～13:30 開会行事(進行は総務部)

13:35～15:15 講演（進行は研修部）（100分）
15:15～15:25 休憩
15:25～16:40 青葉地区研究発表（進行は青葉地区）（75分）
16:40～16:50 閉会行事（進行は総務部）

- ・会場は9:00から借用している。
- ・研究集録について、他社より750円高いが株式会社宮城友栄社に依頼する。
※他社は編集なし（こちらでPDF化した原稿を入稿）であるため。
※本文70ページで見積り依頼しているが、ページ数の多い少ないは金額にあまり影響ないため、集録原稿のページ数に縛りは設けない。
※校正から印刷製本までの流れを再度確認する。
※11月16日市役員会の後に原稿を入稿できる日程で依頼する。
- ・講師料は15万円＋交通費とする。
- ・講師の田川さんは地区研究発表まで参加し、講評や感想を伝えるのは可能とのこと。
- ・参集を基本とするが、入学説明会等の時期であることを考慮し、オンライン研修も行う（Meetで）。
※オンライン研修は学校から会場までの距離によって縛りを設ける（昨年度と同じ）。
※青葉地区は、集録に載せない発表資料がある場合、オンライン研修用に事前に配布すること。

(5) 会員向けアンケート(意識調査)結果の考察について(会長) 昨年度3月結果のみ会員に送付済み

(太白地区の状況)

- ・太白地区は令和4年度役員の多くが他地区異動・退会という状況になり、役員選考が不調となった。
- ・会長、副会長、総務部長、調査研究部長が不在。広報部長、会計、監事は選考済み。太白地区では令和5年度から研修部を廃止し調査研究部二部制としている。
- ・市研究会会長を太白地区会長代行とし、令和5年度地区活動については市事務研役員会で協議決定することとした。決定したことはC4thで全会員に流す。
- ・市部員については、令和4年度役員が選出した。
- ・令和5年度総会は紙面で開催した。研修会等を例年どおり実施する計画で資料は作られており、意見もなく承認された。太白地区会員は役員選考が不調となったことは知っている。

(太白地区の今年度の活動について)

- ・研修会等の地区活動を休止する（休会）。
※会計監査や総会準備など会運営上必要な会議については行う。
- ・市会費を徴収する。金額は地区助成人数割分を除いた金額とする（3,000-1,000=2,000円）。

(研究会見直しについて)

- ・地区発表を一回りしてから（令和8年度まで）見直しを考えていたが、太白地区の状況から地区運営は苦しい状況となっているように思う。他地区でも同様の状況が起きることを想定し、見直しの時期を前倒しせざるを得ない。
- ・アンケート結果より調査研究事業を廃止とし事業が研修だけとなった場合、事業の整理が必要。
- ・市事務研がどうあるべきか。組織により役員選考の方法を考える必要がある。
- ・会の見直しにあたっては、会の加入確認はとるべき。
- ・太白地区の令和6年度以降の活動方法については、市役員会で今後決める（他地区と合体または市役員会が太白地区役員会を兼ねる）。太白地区会員はどうしたいか市役員会主導で聞く。

(他都市の状況)

- ・川崎市の事務研は存続の危機。市が事務研活動を公務として認めなくなったため。

- ・他都市では事務研なのか共同実施なのかを曖昧にしており、研究会役員が共同実施の班長となっていることが多い。そのせいで何をしたら良いか分からなくなっており、「研究」はどうか悩んでいる。
- ・実務は共同実施とセンター、法外のものや事務職員の職務については研究会で扱うこととし、共同実施と事務研で棲み分けしているところもある。

(校長会より)

※校長会の小・中会長と参与の4人を話す機会があり、事務研について意見をもらった。

- ・地区研究会は見直しを考える時期と思う。二組織の活動は負担が大きいこと。外から見ると連携と活動が被っているように思えること。
- ・校長会としては、会が見直され名称や事業内容が変わっても(例えば研究活動がなくなり、研究会という名称ではなくなったとしても)事務研究会という組織は存続してほしいと思っている。学校運営・学校教育を考える会として協力していきたい。これまで通り教研にも入れるように働きかける。
- ・校長会から年に1回市教委に対して学校運営上の要望を出しているが、今後、事務職員の意見を入れることも可能である。あくまでも学校運営に関する要望となるが考えてみてほしい。

(6)その他

会費の徴収について

- ・今年度「主任(再)」は準会員とする。
※準会員は臨時的任用、会計年度職員、主任(再)、高校の職員。
- ・来年度定年延長の人等について、会員の区分をどうするか今年度中に検討する。

5 報 告

(1)各地区報告

青葉地区

6月6日：役員会、7月25日：第1回研修会

泉地区

6月22日：第1回役員会

太白地区

若宮地区

6月6日：第1回役員会、7月27日：第2回役員会、9月15日：第1回研修会

(2)各部報告

総務部

- 市役員・部員委嘱文は未確定のため、別紙案を参照ください →6月14日頃に流す。
- 職名が「専門員」から「主任」に変更したことに伴う会費の集金有無の確認方法

広報部

6月中か7月上旬に部会を開催する。

研修部

6月中に部会を開催する。

調査研究部

6月中に部会を開催する。

情報化推進部

今年度から校納金の扱いが振替から振込に変わった学校が多いため、振込による消し込み等ができるツールを作成し、試験的に使っている。Access で作っており、マクロも今後書いていく。

会計

6 その他

次回役員会・・・令和5年7月13日(木) ※総会要項より

7 閉 会(副会長) 鈴木副会長

事務研の過渡期、転換期になっている。みんなにとって良い事務研になるよう考えていきたい。
6月は仕事が落ち着き、疲れが出やすい時期。体調を崩さないようにご注意ください。